

地元の区議会議員 25年9月号 75号

# とりがい秀夫の地域ニュース



南千住8-3-3-201 電話090(1201)1297

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp

## 常磐線日暮里駅ホーム拡幅工事 17時間で線路の移設も同時に完成

現在の常磐線日暮里駅の朝夕のラッシュ時におけるホームの混雑は大変厳しい状況にあります。かつての北千住駅にも似たような状況ですかねてから日暮里駅も改善の必要性が言われていましたが拡幅できる場所がありませんでした。今回幸いなことに、京成日暮里駅が大幅に駅舎改善事業を行った所、1路線の余裕が生まれましてので今回その廃止線路を活用することになりました。



廃線の京成側を利用し、線路を左側に移動する

### 10月20日北千住～上野 昼間運休

### ホーム6・4mから8・6mに拡幅

ホーム・線路の移設工事 10月20日0時50分～17時40分

三河島～上野方面に行く方 バス・メトロ・つくば線を利用

柏・取手・水戸方面に行く方 北千住からの発車となります

### 京成電鉄のホームから見学可能か？

当日は終電と同時に工事が始まります。工事の進捗状況を見学したり、写真を撮る方もいるかと思えます。常磐線ホームは入れないので、京成のホーム【写真左側】からしか、見れないかもしれません。

# セメントサイロ跡地活用始動

## 決算委員会で理事者答弁

荒川区議会第3回定例会が9月9日より10月8日まで開会し、19日からは決算委員会も始まりました。詳細については10月号で報告を致しますが、私は一般質疑の中で汐入地区のコミュニティ活動と今後の南千住駅東側の開発について質しました。今後の荒川区内でも最大の再開発になるJR隅田川貨物駅については協議が進んでいるとの事です。10月号で詳細について説明いたします。



## 皇居特別参観受け付け開始



### 参観コースから見える建物等

宮殿東庭 (通称・二重橋)  
伏見櫓(最も美しい櫓) 宮殿  
宮内庁庁舎 蓮池堀 他

**【一般参賀でおなじみの長和殿等を見学します】**

**日時** 11月12【火】14【木】18【月】

**時間** 参観時間 10時～11時30分

**集合** JR日暮里駅北口改札口 朝9時

**申込** 電話で氏名・年令・住所・電話・希望日・18歳未満は親と同行

**会費** 3,000円(含む皇居・銀座周辺での昼食代)

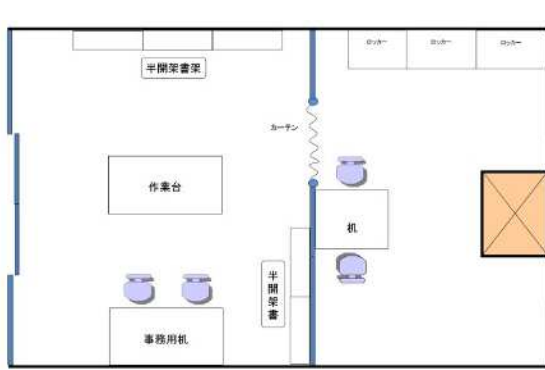
**締切** 9月30日 10月1日に宮内庁に提出

**解散** 昼食後 鳥飼☎ 3807-4811

# 汐入図書ステーション図書を充実

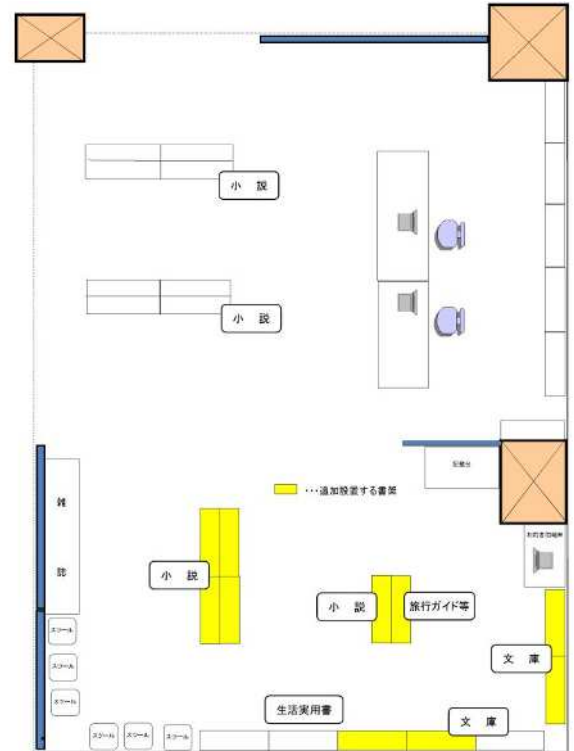
10月1日開設 図書SS隣の空き店舗を借用

商店街の  
空き店舗を  
借用し、図  
書館から遠  
い距離にあ  
る地域を対  
象に図書運営



新しい店舗は主に作業室に使用

を展開するという都内でもユニークな事業を実施している荒川区。汐入を始めとして2店目が日暮里地区でも始まっています。現在汐入SSでは利用者数が年間19万人・貸し出し数は19万点位ですから、かなり利用されています。今回の拡大により、面積は30m<sup>2</sup>増・蔵書も9,600から12,000冊になります。今回の経費は550万円かかるとの事です。今回の拡充により更に読者が増える事を望みます。



現在の作業室部分が拡大します

## 隅田川に浮かぶ神輿パレード 東京芸大「夕日見」祭りIN汐入 10月14日は注目日

昨年10月に汐入で初めて開催された東京芸術大学学園祭で担いだオブジェ。見た人はその迫力に圧倒されました。汐入公園で賑やかに楽器を鳴らしながら隅田川に浮かぶ船に乗り込む姿には度肝を抜かれました。今回はお見逃しなく。汐入の新たな観光名所になるかも！！

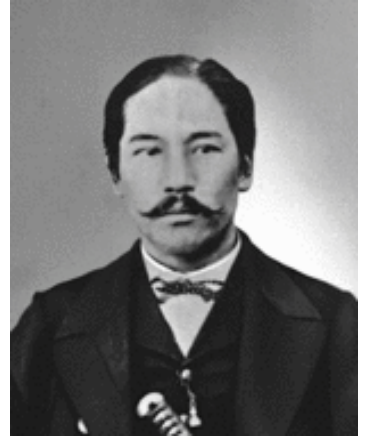


環境交通祭りは午前開始

## 地域の歴史を訪ねて 34

# 隅田川周辺に住む幕末の英雄 榎本武揚 水神大橋近くの散策が日課

上野・御徒町で生まれ、墨田区向島で晩年を過ごした男、榎本武揚【1836～1908 明治41】幕末から明治まで活躍した彼は明治維新の影の英雄であり、日本最初の技術官僚とされています。彼の父は測量で有名な伊能忠敬の弟子として日本の各地を回りました。父の影響で既に18歳の時に函館奉行所で働き、未開の地である蝦夷地から樺太まで探検しています。武家の出身ではなかったことと、長男ではなかったことで、彼が武士として出世することは困難でした。そこで彼は英語を学び【ジョン万次郎の私塾】西洋文明や科学を研究する道へと向かいます。（この時、彼と別の道を選択し武士としての出世を目指したのが、近藤勇ら新撰組の面々でした）彼は20歳の時に勝海舟が指導した長崎伝習所の二期生に選ばれ、長崎で航海学を学んだ後、更に、砲術、蒸気機関学、国際法、電信機、兵学、化学等を学ぶため22歳の時オランダへ留学することになります。



## 幕府側の人物が何故生かされたのか？

慶応3年に帰国するも時代は「大政奉還」～「戊辰戦争【明治元年の干支が戊辰であることに由来する】という歴史の大波の中で彼は生きていきます。戊辰戦争の最後の戦である函館戦争では幕府側の中心人物として新政府軍に大きな損害を与えながらも、敗戦となり彼は降伏します。その時、携えていたのがオランダ留学時代に書き写した「万国海律全書」でこれを、新政府軍の総参謀の黒田了介に送ったところ、彼の非凡な才に感服した黒田は助命嘆願活動を行い、榎本は一命をとりとめます。明治政府での彼は中露全権公使として「樺太・千島交換条約」の締結や、農商務大臣の時には足尾銅山事件の解決に先鞭をつけ、又、現在の郵便マークの〒を考案もしました。晩年は向島に住み【現在の言問小学校付近】毎日のように百花園や水神大橋迄、馬に乗って通うのが日課となっていました。又、植物学にも詳しく、百花園の主人に植物について教えていたとかの話も残っています。



白鬚東団地に建つ  
榎本像